

市政・県政報告会

令和7年9月25日
熊本市東区 市政・県政報告会を開催しました。



建設常任委員会管内視察

令和7年7月25日
都市計画南部幹線橋梁工事現場 宇土市を視察



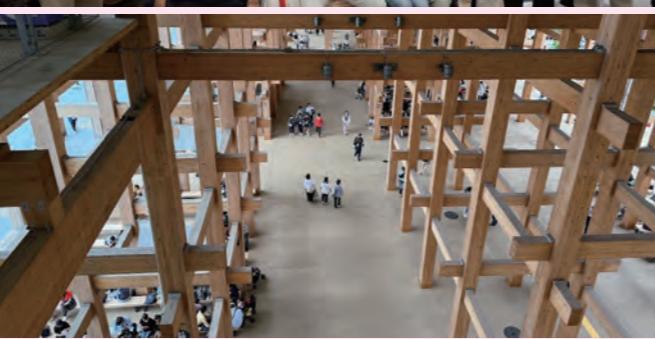
環境を考える議員の会

令和7年7月28日
蓄電池採用の道の駅
「やんばるパイナップルの丘 安波」沖縄県国頭村を視察



い業議連万博視察

令和7年6月9日
ハ代産のイ草畳が大阪・関西万博のパビリオンに展示されましたので、議員連盟で視察に行きました。



水俣病犠牲者慰靈式

令和7年5月1日
「令和7年度水俣病犠牲者慰靈式」に参列しました。



情熱行動

熊本県議会議員 本田雄三
HP : <https://hondayuzo.com>
住所 : 熊本市東区月出6-5-15
連絡先 : 県議会公明党 096-333-2645
MAIL : yuuzou303666@gmail.com



情熱と行動で
活力ある熊本を!!

<https://hondayuzo.com>



本田ゆうぞう
HP

熊本県議会議員

情熱と行動で 活力ある熊本を!!

KUMAMOTO



本田ゆうぞう 議会NEWS

Kumamoto
for SDGs

情熱
行動

令和7年
vol.16

特集 令和7年9月定例会(9月24日)本会議代表質問

代表質問項目

一般質問・代表質問を
併せて通算9回目の
質問を行いました!!

- 1 健軍駐屯地へのミサイル配備計画について
- 2 TSMC県内進出に係る今後の動向について
- 3 データセンターの誘致について
- 4 外国人との共生に係る諸課題について
 - (1)共生に向けた県の取組
 - (2)外国人観光客のマナー対策



◎詳しい内容は、中面をご覧ください。

- 5 令和7年8月の水害対応について
 - (1)水害を踏まえた今後の対応
 - (2)排水機場の浸水対策
- 6 防災力向上に向けた取組について
 - (1)避難指示の在り方
 - (2)避難所運営における資機材の有効活用
- 7 学校現場における落雷事故防止について
- 8 阿蘇山上における安全・安心の確保について
 - (1)電線の地中化
 - (2)トイレの充実
- 9 太陽フレアへの対策について(要望)



定例会を視聴できます



視察 令和7年8月大雨被害における対応



令和7年8月15日 八代方面の被災状況を視察



令和7年8月20日 赤羽元国交大臣視察に同行



令和7年8月28日 知事大雨被害国会等への要望活動に同行



令和7年8月30日 国交大臣大雨被害視察に同行

ごあいさつ

朝夕は凌ぎやすい季節となりましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。今夏は、連日の猛暑で、皆さまの健康維持に支障を来すほどの異常気象がありました。農作物への影響も懸念される中、全国各地で線状降水帯による大雨被害が発生するなど、自然災害の猛威を改めて認識させられました。被災された皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。

さて、県議会も令和7年9月定例議会が10月7日に閉会いたしました。今定例会では8月の大河災害の復旧費などを盛り込んだ補正予算(約550億円)が可決され、補正後の総額は9,176億円強となりました。物価高騰や災害復旧など、迅速な対応が必要な課題が山積しておりますが、これからも皆さまの「お声を聴く・現場に行く」をモットーに、全力で取り組んでまいりますので、何卒、ご指導・ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願ひ申し上げます。



熊本県議会議員
本田ゆうぞう

令和7年9月定例会の代表質問についてご紹介します。

1 健軍駐屯地へのミサイル配備計画について

Q 国産長距離ミサイルの健軍駐屯地配備にあたり、知事は県民の不安解消と理解促進を防衛省にどう働きかけるのか?

A ●九州防衛局は相談窓口やQ&Aを設置し、不安解消に対応。県は今後も国に丁寧な説明と安全対策の徹底を強く要請。

2 TSMC県内進出に係る今後の動向について

セミコンテクノパーク周辺で急速な開発が進み、JASM第2工場の工期延長報道を受け、知事の正確な情報提供が必要。

Q ①第2工場の本体着工および操業開始時期の見通し。

A ●JASM第2工場は現在造成中で、令和7年中の着工、令和9年末の操業開始予定に変更はなし。不正確な報道もある中、県とJASMは都度コメントを発信し、TSMC本社として令和7年中の着工に向け協力を継続。

3 データセンターの誘致について

Q デジタルインフラ整備に不可欠なデータセンターの具体的な誘致活動に向け、県庁内にプロジェクトチーム編成が必要。更に進出予定のデータセンターの早期運用開始に向け、どのような支援を行うのか知事の見解を問う。

A ●生成AIや自動運転を支えるデータセンターの需要が高まる中、熊本県は半導体産業と連動し、戦略的な誘致に取組む。電力・通信環境などの課題解決に向け庁内勉強会を実施し、国への提案も視野に次世代産業の創出を目指す。

4 外国人との共生に係る諸課題について

① 共生に向けた県の取組

Q ①地域の多様化と外国人共生が進む中、県は交流促進や相互理解にどう取組むのか、知事室長に問う。

A ●市町村や民間団体と連携し、多文化共生を推進。暮らしやすい環境を整え、外国人材に選ばれる開かれた熊本を目指して参る。

5 令和7年8月の水害対応について

① 水害を踏まえた今後の対応

Q ①今回の大雨は想定外の雨量で、専門家は過去の常識が通用しないと指摘。今後の治水対策について土木部長の見解を問う。

A ●大雨被害を受け、河川管理者の土木部と農地の浸水対策に取組む農林水産部、内水対策を担う市町村が連携し、対応の強化と浸水被害軽減に向けた検討会を設置したので、年度内に対策をまとめ、地域と協働し安全確保に努める。



6 防災力向上に向けた取組について

① 避難指示の在り方

Q ①避難指示時、自宅以外への避難が必要な方に適切な情報が届くための取組みについて、知事室長の見解をお聞かせください。

A ●避難情報を適切な避難行動につなげるため、県はマイタイムラインの普及や自主防災組織支援を推進。予防的避難の呼びかけも行い、市町村と連携し「逃げ遅れゼロ」を目指して防災意識と対応力の向上に取組む。



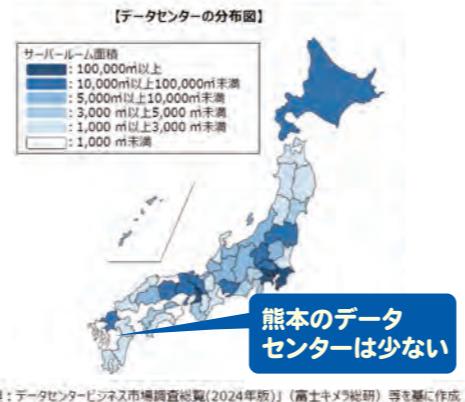
② 避難所運営における資機材の有効活用

②女性や車いす利用者に配慮したトイレや医療機器対応蓄電池、簡易ベッドなど最新資機材の見直しについて、健康福祉部長の見解をお聞かせください。

●避難所の生活環境向上のため、新たな資機材の整備を推進。県は交付金を活用しトイレコンテナ等を整備、市町村も資機材活用を進めている。今後も平時活用も視野に入れ、情報提供と国への財政支援要望を継続する。



②第3工場誘致に向けた知事の思いについて確認。



【データセンターの分布図】

サーバールーム面積
: 100,000m²以上
: 10,000m²以上100,000m²未満
: 5,000m²以上10,000m²未満
: 3,000m²以上5,000m²未満
: 1,000m²以上3,000m²未満
: 1,000m²未満

熊本のデータセンターは少ない



7 学校現場における落雷事故防止について

Q 児童生徒を落雷から守るための取組みと、雷ナウキャストの学校での活用について教育長に問う。

A 県内全ての学校で、雷被害防止に向けた研修やマニュアル改訂を実施。雷ナウキャストの活用を徹底し、屋外活動時の安全確保を図る体制を整備。今後も継続的な確認と対策の定着を進める。



8 阿蘇山上における安全・安心の確保について

① 電線の地中化

Q ①阿蘇山・米塚付近の景観保全と観光振興の観点から、無電柱化推進計画に基づく電線地中化の取組みについて、土木部長の見解をお伺いします。

A ●阿蘇地域は世界ジオパークにも認定されており、特に景観保全に配慮すべき地域です。県としても、米塚付近の無電柱化は景観形成や観光振興の面から望ましいと考えており、今後、電線管理者や地元関係機関と協議しながら、実施時期を検討して参る。



▲米塚付近の電柱や電線の状況

② トイレの充実

Q ②山上広場の老朽化トイレの改修及び環境省よりビジターセンターの委託を受けている阿蘇火山博物館のトイレ整備について環境生活部長の見解を問う。

A ●草千里では観光客増加によりトイレ需要が高まっており、火山博物館のトイレ改修は補助事業の活用も検討するなど、火山博物館利用者の環境改善に向けた取組みを後押しして参る。山上広場には今年度末までに移動式トイレを設置予定で、既存トイレの改修も引き続き検討して参る。



9 太陽フレアへの対策について(要望)

要望 太陽フレアによる通信障害等の対策として、県行政として、国との連携及び南海トラフ地震と同等の対策の備えが必要。

太陽フレア 太陽フレアとは、太陽の表面(太陽の大気)で発生する爆発的なエネルギーの放出現象です。2024年5月と10月に通信障害がニュースになりました。